



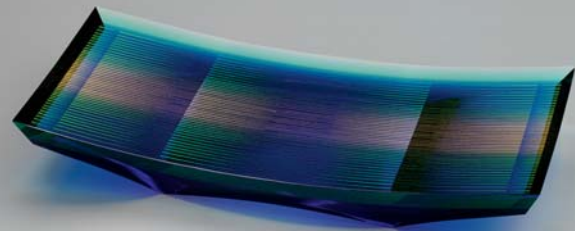
黒猫鳥花文鉢 米田 和 朝日新聞社賞



透網代箱 松本破風 日本工芸会会長賞



友禅訪問着「群」
水橋さおり
日本工芸会奨励賞



載金硝子長方皿「流衍」 山本 茜 NHK会長賞



蒔絵八角箱「月華」 大角裕二 文部科学大臣賞



陶彫彩色「寒威」 溝口堂央 日本工芸会奨励賞



銀打出し花器「風韻」 大角幸枝 日本工芸会保持者賞

世界に誇る日本の工芸
人間国宝から新進気鋭の若手まで

The 61st Japan Traditional Kōgei - Art Crafts - Exhibition

第61回 日本伝統工芸展

陶芸・染織・漆芸・金工・木竹工・人形・諸工芸

2015 平成27年 2.25 [水] - 3.15 [日] 会期中無休 午前9時-午後5時(金曜日は午後7時まで)
※2月25日は午前10時から ※入館は閉館の30分前まで

入館料 一般700円(500円) / 高・大学生400円(200円) 中学生以下無料

※()内は前売・20名以上の団体料金

※前売券は広島県立美術館、広島市・呉市内の主なプレイガイド、画材店・画廊などで販売しています。

※学生券をお求めの際は学生証のご提示をお願いします。

※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳及び戦傷病者手帳の所持者と介助者(1名までの当日料金は半額です。手帳をご提示ください。

主催 広島県立美術館 / NHK広島放送局 / 朝日新聞社 / (公社)日本工芸会 後援 文化庁
協賛 朝日オリコミ広島



名勝「縮景園」とともに楽しむ アートの社
広島県立美術館
Hiroshima Prefectural Art Museum



日本伝統工芸展

陶芸・染織・漆芸・金工・木竹工・人形・諸工芸

世界に誇る日本の工芸
人間国宝から新進気鋭の若手まで

日本伝統工芸展は、日本の風土の中から生まれた世界に誇る工芸技術を、発展継承させることを目的に、昭和29年に創設されました。以来、その伝統をよく理解しながら一層技術を磨いて、今日の生活に即した新しいものを築き上げることを目標としています。第61回となる本展の広島展では、重要無形文化財保持者（人間国宝）から新進気鋭の若手まで、陶芸、染織、漆芸、金工、木竹工、人形、諸工芸の7部門にわたり、日本を代表する作家の作品320点を展示します。なお、広島県からは12名の作家の作品が入選しています。

In 1954 this annual exhibition "Japan Traditional Kōgei -Art Crafts- Exhibition" was established for the development and inheritance of Japanese art crafts traditions. Since then the aim of this exhibition has been the creation of new types of works suitable to the modern lifestyle while keeping traditions and improving techniques. The 61st Exhibition at our museum there are 320 pieces exhibited classified into seven categories of ceramics, textiles, *urushi* (lacquer) work, metalwork, woodwork and bamboowork, dolls, and other work. These works were made by a broad spectrum of craftspeople from Living National Treasures (Holders of Important Intangible Cultural Property) to young and energetic artists who represent the Japanese art crafts world. Among these there are 12 artists from Hiroshima Prefecture.



イベント

1. 記念講演会（広島県立美術館友の会共催）

日時 2月28日（土）13:30～15:00（開場13:00）

講師 山本 晃（重要無形文化財「彫金」保持者）

テーマ 「金工と私の人生」

場所 地階講堂

※聴講無料、定員200名（当日先着順。講演会終了後、展覧会場にて作品解説会を予定しています。作品解説会に参加する場合は入館券が必要です。）

2. ギャラリートーク

一県内在住の日本工芸会正会員（出品作家）による分野別作品解説会

日時・講師（分野）

2月28日（土）11:00～ 小林松斎（木工）

3月 1日（日）11:00～ 金城一國斎（漆芸） 13:30～ 菅坂安子（七宝）

3月 7日（土）11:00～ 井戸川豊（陶芸） 13:30～ 松岡裕治（木工）

3月 8日（日）11:00～ 栗根仁志（七宝）

3月14日（土）11:00～ 今田拓志（陶芸）

一担当学芸員による展示全般に関する見所解説

2月27日（金）/3月6日（金）/13日（金）すべて11:00～

所要時間：約40分

場所：3階企画展示室

※入館券が必要です。申込不要。

3. 子どもワークショップ

小さなお椀の形をしたストラップ・チャーム（飾り）に漆で模様を付けます。ストラップは講師が持ち帰り、漆が乾燥した後、参加者あてに送料着払いで送付します。講師による漆芸のお話や実演もあります。

日時 3月8日（日）13:30～15:30

講師 田代昭夫（漆芸家、日本工芸会正会員）

テーマ “ミニチュアお椀のストラップ”を作ろう！

場所 3階ロビー

※参加料無料。ただし、作品送料を自己負担していただきます。定員20名（小学生以上。事前申込が必要です。）申込方法は下記をご覧ください。

4. アートと私の美味しい時間

“日本酒が繋ぐ、イタリア料理と伝統工芸”

イタリア料理と日本酒をいただきながら、作り手による酒作りに関するお話を、当館館長との対話形式でお伺いします。これに先立ち、担当学芸員の解説による伝統工芸展の鑑賞会を行います。

日時：3月6日（金）/参加料：4,200円/定員：50名

※事前申込が必要です。申込方法は下記をご覧ください。

【鑑賞会】17:00～17:45/3階企画展示室

【トークショー】18:30～20:00/1階ゾーンイタリアインチェントロ
島 崇（八幡川酒造株式会社 品質管理部長）
越智裕二郎（当館館長）

きものde美術館

会期中、和装で本展をご鑑賞の方に、もちろんポストカードをプレゼントします。また、会場にてご応募いただいた方から抽選で素敵な景品をプレゼントします！

[協力]川原圭斎窯、川原蔵栄堂、宮島細工協同組合、山根対蔵堂等



- JR広島駅より約1km ● 広島城より約400m
- 市内電車（「八丁堀」で乗り換え）白島線「縮景園前」下車約20m
- ひろしまめいぶる～ぶバス（市内巡回バス、JR広島駅新幹線口のりば発着）「県立美術館前」下車

名勝「縮景園」とともに歩む アートの杜
広島県立美術館
Hiroshima Prefectural Art Museum

〒730-0014 広島市中区上輪町2-22
TEL.082-221-6246 FAX.082-223-1444 <http://www.hpam.jp/>

[3と4の申込方法]お電話により、イベント名と月日、お名前、ご住所、電話番号などをお知らせください。先着順で受け付け、定員になり次第締め切ります。（電話番号・広島県立美術館 082-221-6246）

※各イベントの所要時間は目安です。都合によりイベント内容に変更が生じる場合があります。最新の情報は当館ホームページで御確認ください。

1長板中形着尺「漣文」(部分) 松原伸生 高松宮記念賞/2 柄拭漆十角飾箱 市川正人 日本工芸会新人賞/3 木芯桐塑布紙貼「しだかじ」 満丸正人 日本工芸会新人賞
4 久留米緋着物「思い出」 柿原真木子 日本工芸会新人賞/5 黒柿有線寄木象嵌箱 渡辺晃男 東京都知事賞/6 彫刻磁鉢 石橋裕史 日本工芸会奨励賞/
7 乾漆蓋物「暁」 山田勲太 日本工芸会奨励賞/8 龍銀花器「壺」 清水竜明 日本工芸会奨励賞